

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地選定結果報告会
東黒川区 意見及び質疑応答 要旨

- 日 時 令和6年2月18日(日) 16:00~18:50
○場 所 東黒川地区コミュニティ消防センター
○出席者 区民55名、長野広域連合環境推進課職員4名
飯綱町役場住民環境課職員2名

○意見及び質疑応答

	意見・質疑・要望等	回答・説明
1	<p>① 八蛇川水系に影響がないか。 ② 埋立地が広大となるが水量に影響があるか。 ③ まだこの時点でもこの計画の変更は可能か。 ④ 埋め立てた有害物質は20年30年ずっと大丈夫か。</p>	<p>① 浸出水と処理水は全て下水道管に接続して流す構想となっている。最終処分場の稼働にあたって施設の外へ有害物が出ることは想定していない。(広域)</p> <p>② 最終処分場の計画地が特定の場所に決まると、建設のために基本設計となる。その前に生活環境の予測調査を行う。この調査は、施設を建設する際に周辺にどういった影響があるか、あるとすればどの程度でその影響を小さくできるか調査する。この生活環境影響調査で施設の建設により、本来流れるはずの地下水が減るのか増えるのか、異常な予測があるとするれば、低減させるための設計をどうするか、対策と予測をする。(広域)</p> <p>③ 令和7年度にはどちらかに一本化する考えでいる。現時点では今までの過程からゼロベースに戻すのは難しい。 処分場建設候補地の決定後、環境影響調査や地質調査などにより、決定的に具合が悪いところが見つかった場合には、ここに作るのは難しいといった判断となり、ゼロベースで考えなければならぬ可能性はあり得る。(広域)</p> <p>④ 埋立期間は15年間を予定している。埋立てが終わった後も水管理、浸出水の管理を行う。河川放流しても大丈夫という基準まで続ける。概ねその時間が15年程度必要と言われている。(広域)</p> <p>同様の意見として、「質疑応答の要旨」の12ページの項目8の②、「放流水が基準を満たせば下水道放流は止めるのか」の問いに、広域連合では、「河川放流をする可能性が高い」と答</p>

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地選定結果報告会
東黒川区 意見及び質疑応答 要旨

	意見・質疑・要望等	回答・説明
		<p>えている。そういった答えはしているが、町ではその都度、地元や下流地域の皆さんと協議し方向性をお示ししていければと考えている。</p> <p>(町)</p>
2	<p>① 建設候補地を選出した市町村は、今まで施設を受け入れてこなかったのが立候補したのか、それとも長野市長が命令的に決めたのか。</p> <p>② 廃止基準で放流水の放射能の基準がどうか。質疑応答要旨の11月14日に放射能についての記載がある。飯綱町の普段の放射能も調べてほしい。</p> <p>③ 昨年の議会全員協議会での説明でも飯綱町でどう決めたかは説明がなかったが。</p>	<p>① どのようにこの候補地が決まったかは、過去の経過から次の最終処分場は北部と西部のブロックの中から選ぶことが市町村長の会議で決まった。飯綱町の地蔵久保は、連合長の長野市長が決めたのではなく、飯綱町が推薦した。長野市の中条も長野市の中で検討し推薦した。今回候補に残らなかった4つの候補地もそれぞれ町、村から推薦いただいた。(広域)</p> <p>② こちらは一般廃棄物の最終処分場なので、放射性物質濃度が一定以上検出されるものは埋立できない。エコパーク須坂での運用は、ながの環境エネルギーセンターとちくま環境エネルギーセンターで副生成物ができた段階で放射性物質濃度を定期的に計測している。埋め立てできる基準内のものだけ搬入され、埋め立てられる。ちなみに、副生成物について、ながの環境エネルギーセンターとちくま環境エネルギーセンターが稼働して以来、放射性物質濃度はすべて不検出となっていて、数字として検出されたことはない。(広域)</p> <p>③ 資料の「候補地選定に係る経過」で平成27年4月に関係4市町村(長野市、信濃町、小川村、飯綱町)に候補地抽出の依頼から始まる。飯綱町では、平成28年3月に町の環境審議会での最終処分場に係る検討会として候補地選定に係る勉強会を開いている。その後、平成28年10月と令和元年12月に町の衛生組合連合会(50地区)で、適地があるかのアンケートを2回実施している。2回とも適地として回答はない。平成28年3月から令和2年1月に事務局レベルで、地図、航空写真から地形的に判断し現地確認等を行い、当時の住民環境課で5箇所を検討箇所とした。その一つに地蔵久保も入</p>

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地選定結果報告会
東黒川区 意見及び質疑応答 要旨

	意見・質疑・要望等	回答・説明
		<p>っていた。令和2年3月に町の議会全員協議会で次期処分場の選定スケジュール及び抽出条件（物理的、法律的）について説明している。具体的な場所は上げていない。令和2年12月に町の環境審議会（町長も出席）で建設候補地として地蔵久保の選定をした。令和3年1月には地蔵久保の区長に事業概要を説明している。ブロック内の市町村（長野市、信濃町、小川村、飯綱町）から候補地を広域連合へ報告することを前提に令和3年度から文献調査、水質調査、地質調査を行うことに理解いただくようお願いした。令和3年2月に長野広域連合長宛に、飯綱町として次期最終処分場建設候補地として「地蔵久保」を報告した。ただし、地元区での未承諾を付記し報告している。令和3年8月の地蔵久保区総会において、地元区として、候補地として調査することなどを了承した。飯綱町としてぜひ作ってくれということではない。</p> <p>地蔵久保を町が選定した理由は、担当課である住民環境課において、広域連合から示された抽出するための物理的条件、建設可能な地形であるか、主要道路からの距離及びアクセス、周辺の土地利用の状況等や、法律的条件、法的に禁止されている規制、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律の規制対象か、自然環境では、自然環境保全法、文化財保護法等の規制があるか、土地利用の関係については、森林法等を参考に該当地を選定する中で、適地だと判断して、令和2年12月に町の環境審議会の意見をお聞きし決定した。といった流れになっている。（町）</p>
3	<p>① 用地は地蔵久保地域になるか、袖之山地域になるのかだが、黒川からすれば一番高い場所となる。水量にしても問題ないことはない。</p> <p>② 議会や農業委員会でも調査していない、地区へ説明できるように</p>	<p>① 核心部分は地蔵久保地籍になる。付随した部分とか搬入道路等の相当分は袖之山地籍も含まれる。しっかりとした面積の確認はしていない。核心部分の埋立地7haは地蔵久保として理解しており、報告として挙げている。（町）</p> <p>② は要望</p>

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地選定結果報告会
東黒川区 意見及び質疑応答 要旨

	意見・質疑・要望等	回答・説明
	お願いしたい。汚染水や水量、まったく関係ないとは思うが。東黒川は農業用水、生活用水、99パーセント利用している。多大な予算や役員をたてて毎年管理している。その辺が心配、町でも議会で十分に説明や調査をしていない。行動に移してもらいたい。要望としてお願いしたい。	
4	浸出水は袖之山で下水道管へ繋ぐようだが、下水道へ流す分は水が減る。減る分は、深井戸を掘るとかで補充できないか。また、水質的には河川放流はできないか。	施設の性能的には河川放流できるレベルまで綺麗にできる。川の水が減りそうだから、河川放流の基準まで綺麗にして、河川に流すとの要望が多ければその方法も考える。一般的には川へ流れることのリスクや風評被害などで、須坂の場合も地元の要望で下水へ流している。(広域)
5	基準値とは国が決めたもの、県が決めたもの、現状から割り出したもの、いずれか。	廃棄物処理施設は、廃棄物処理法で定められた施設となる。国の法律で定められた排水基準となっている。施設の廃止基準もある。廃止は、私たちが基準を満たしたから廃止するのではなく、飯綱町の場合は長野県で施設の設置届け出の受理となるので、県が基準を満たしたと判断した場合のみ廃止になる。基準については国の法律になる。(広域)
6	① 長野市千曲川下流の水質程度にすれば放流できるという認識でよいか。安定化した後、現状と同じ状態になるか。 ② 最終処分場ができた以降は、もとの水質には戻らないということだよいか。	① 下水道の浄化施設、農業集落排水の施設などの排水基準と同じレベルの基準だと思う。施設よりも上流と同じレベルまで綺麗にできるかは難しい。家庭用の合併浄化槽はそれより基準が緩い。細かい数字までは分からないが、そのレベルの基準で綺麗にして流すことになる。(広域) ② 戻るか戻らないかを今の時点で断言することはできない。法律に定められた基準に則って運用している。運用の結果、現状とどの程度変わるかは把握できない。(広域)
7	① もしここに決まったら、ため池、沈砂池など、水系にため池を作	① 現時点ではわかりましたと言えない。検討材料にしたい。(広域)

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地選定結果報告会
東黒川区 意見及び質疑応答 要旨

	意見・質疑・要望等	回答・説明
	<p>ってほしい。</p> <p>② 芋川の日向地区は選定に挙がらなかったか。</p>	<p>② 町の候補地の検討地5箇所には入っていない。(町)</p>
8	<p>風評とは怖いもので上流に処理場ができればイメージが良くない。これだけ説明を受ければ、どこかに必要なものなので、仕方ないという気持ちもある。こういう施設ができるが安全だというPRをこれからもやっていただきたい。水不足の問題では、用水のため池も要望したい。</p>	
9	<p>① 埋立地に降った雨は下水に流すということで、八蛇川水系に流れる分は少なくなるという認識でよいか。</p> <p>② 外周の側溝の雨水についてはどうなるのか。</p> <p>③ 埋め立て地内に降った雨は、浄化して下水道へ流すと説明いただいた。埋立てが終了し水管理が終了する30年後以降も続けるのか。</p> <p>④ 30年後には基準を満たすようになり、問題ないとなると処理施設はなくなるのか。撤去するのか。</p> <p>⑤ 他のところでは処理施設を破棄されているのか。</p> <p>⑥ 30年後に国の基準が厳しくなった場合、運用(浄化处理)を続けることになるのか。</p> <p>⑦ 須坂市のQAで、Q3-2で「東北地方や関東地方など16都県にある最終処分場595箇所のうち、2箇所が稼働を停止している。」2箇所の停止している理由を教えてください。</p> <p>⑧ 須坂市仁礼町の最終処分場で</p>	<p>① 今回の想定のとおり下水に流すとなればその通りとなる。(広域)</p> <p>② 須坂と同じようになる。敷地内から埋立地を除いた部分の雨水は河川放流される。木があった部分に搬入用の道路を作り、施設整備を行うので、保水力が落ちる可能性がある。そのため防災調整池を作り、埋立地を除いた施設の敷地内に降った雨については一回ここへ貯める。大雨が降った時に敷地から外へ流れて災害になったりすると困るので、一回ここへ貯めて少しずつ流すようにする。(広域)</p> <p>③ 施設とすると15年間埋め立てて、その後安定化し、ごみの中を通過してきた水が綺麗になる。汚れた水が出てこない。河川に放流してもよい基準まで綺麗になると県に届け出て、許可になると施設が閉鎖となる。(広域)</p> <p>④ 浄化する必要がなくなるので完全に閉鎖する形になる。後利用を含めて検討することになり原則的には必要のない施設となる。(広域) 他の市町村を確認すると公園とか太陽光発電施設などに跡地を利用している。(町)</p> <p>⑤ 須坂の施設ができる前に長野市が単独で作った小松原最終処分場がある。広域連合の最終処分場は、焼却炉を通ったものしか埋め</p>

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地選定結果報告会
東黒川区 意見及び質疑応答 要旨

意見・質疑・要望等	回答・説明
<p>は「熔融飛灰は資源化して埋立てないことを決定している」とあるが、次期最終処分場では埋立て対象としているのはなぜか。</p> <p>⑨ 遮水シートの損傷を監視する漏水検知システムがあるが、どこまで継続して監視するのか。</p> <p>廃止までは監視されると思うが、安定化以降の監視はどう考えているか。</p> <p>⑩ 30年後、40年後、100年後に何か起きた場合、検知するものもないし防ぐものもないという認識でよいか。</p> <p>⑪ 漏水確認のための埋立地周辺の地下水の水質調査を定期的に行っていると思うが、(閉鎖後は)それも止めてしまうのか。</p> <p>⑫ 候補地が5箇所あったとのことですが、そこから今回の場所に決定した経緯の公表は可能か。資料の提供もお願いしたい。</p> <p>⑬ 地蔵久保で大反対になり、飯綱町の中で別の候補地になる可能性はあるか。</p> <p>⑭ 例えば今回は中条へお願いして、その次に飯綱町の順番が来た時にあらためて選定する。その時に意見を言えば、何か変わる可能性はあるという認識でいいか。</p>	<p>ていない。古い処分場はそれ以外にも不燃の破砕残渣なども埋めていたので、現在も浸出水が全部の基準を満たした状態にない。浸出水の処理を続けている。長野市内の施設で浸出水の処理を終了したものは知らない。小松原は隣接の天狗沢を含め 30 年以上利用されていた。(広域)</p> <p>⑥ 基本的な法律の考え方は、法律の改正は改正後から適用となる。後で変わったからと遡って適用ということは原則ない。(広域)</p> <p>⑦ ※後日確認回答</p> <p>資料を作成した須坂市の担当者と確認がとれず、「2箇所」がどの施設を指すのか特定できない。一方、震災直後(1箇所程度)に全国都市清掃会議でまとめたものは、一次的な停電等によるものも含め、14箇所程度が停止していた。また、環境省が平成26年3月にまとめたものでは、停止していたかわからないが、最終処分場では5箇所施設破損などの被害があった。(広域)</p> <p>詳細は下記アドレスのとおり 全国都市清掃会議 東日本大震災による施設被害状況調査一覧 http://www.jwma-tokyo.or.jp/asp/saigai/20110420sisetuhigai_syukei.pdf 東日本大震災における廃棄物焼却施設等の被害状況 https://www.env.go.jp/recycle/waste/disaster/dwasteguideline/pdf/parts/gil-03-2.pdf</p> <p>⑧ 今後どのような考え方になるのかわからないので、今回の見込みに関しては、6品目全量を埋めることが可能な容量を想定した。熔融飛灰には重金属が含まれていて、その重金属をリサイクルしている。主灰についても、半分程度が熔融スラグになっているが、もう半分は主灰のままリサイクルするために、民</p>

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地選定結果報告会
東黒川区 意見及び質疑応答 要旨

	意見・質疑・要望等	回答・説明
		<p>間施設に出している。6品目のうち3品目は全量リサイクルされているので、須坂へは埋めていない。</p> <p>リサイクルするには、それなりのエネルギーなどが必要でお金も相当かかる。(広域)</p> <p>⑨ 完全に安定化したとなれば、それ以降汚れた水は出ないことになり、施設そのものが閉鎖となる。施設閉鎖以降は漏水検知システムも使わない。(広域)</p> <p>⑩ システム上はない。(広域)</p> <p>⑪ 定期的な水質検査も行わなくなる。(広域)</p> <p>⑫ 5箇所を検討箇所とした。環境審議会では、「地蔵久保」のみ選定している。事務局レベルというのは、地図、航空写真上だけであって、法律的とか物理的なものは考えないで、5箇所挙げていた。その後、現地を確認したり、現況と照らし合わせたりして、3箇所については、土砂災害等の地域になっていたため除外した。もう1箇所については、集落に隣接している地域のため除外したとお聞きしている。そのような経過の中で「地蔵久保」1箇所に選定された。(町)</p> <p>※飯綱町の検討箇所(5箇所)</p> <p>○候補地1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要地方道から集落へ向かう町道沿い ・地目は山林(8筆:約8万㎡)で沢が確認できる ・集落に隣接した地域 <p>○候補地2(地蔵久保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地蔵久保から長野市坂中へ向かう町道沿い(M2-48)(坂中トンネル付近) ・地目は山林(7筆:約7万㎡)で沢が確認できない ・南側に太陽光発電施設がある <p>○候補地3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落から集落へ向かう町道沿い ・一部農用地で耕作がされており、東側奥に1

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地選定結果報告会
東黒川区 意見及び質疑応答 要旨

	意見・質疑・要望等	回答・説明
		<p>級河川が確認できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山地災害危険地区（崩落土砂流出危険地区）付近、保安林 <p>○候補地4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落から他市へ向かう県道沿い ・地目は田、畑、原野、山林（15筆：約4万㎡）で1級河川が確認できる ・土石流危険渓流の指定がある <p>○候補地5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域道路沿いの集落から集落へ向かう町道 ・農用地で耕作されており、沢が確認できる ・土石流危険渓流の指定がある <p>⑬ これまでに広域で6箇所を選定された経過もあるので、新たに違う箇所を選定するのは難しいと思う。令和7年度に決定するにあたって、どちらもダメになり、ゼロベースになれば再度選定を行うのか。北部ブロックと西部ブロックでやり直すのか。それぐらいしかお答えできない。（町）</p> <p>⑭ 仮定の話だと何とも言えない。質疑応答の12ページの12番にも「今回中条に決まったら、次の候補地として地蔵久保が上がる可能性はあるのか。」とある。次は北部ブロックで飯綱町という考えも出てくるかもしれないが、現段階で決まっているものではない。（町）</p>
10	<p>4市町村からの6候補地から2箇所に絞られたというのが現在の状況。選定の評価をしたのが専門委員会。評価自体は客観性があるもの。直前に依頼をいただいて参加した。地蔵久保が候補地になっているのを、参加依頼を受けてから初めて知った。計画自体が、候補に上がるまでは住民にはほとんど知られていない。どうしてここが候補に上がったのか、私自身が疑問に思いながら委員を務めた。候補に挙げた段階</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。地蔵久保を町が選定した理由や経過はまとめたものがある。この辺りは、町の議会で当区の議員さんが一般質問をされると聞いている。しっかりお答えできるようにしたい。また、町は下流の水利利用者を考慮していたか、考慮していなかったかは、もっともな話。候補地として報告した時点では、広域連合の抽出条件で、水利利用等といった具体的な条件は示されていないため、特段の考慮はしていない。市町村から候補地が報告された後に、広域連合による、文献調査、水質調査、地質調査等により必要に応じ</p>

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地選定結果報告会
東黒川区 意見及び質疑応答 要旨

意見・質疑・要望等	回答・説明
<p>でも、6箇所から2箇所に絞られた時点でも、東黒川の用水に関しては今までまったく考慮されてこなかったということがはっきりした。この評価選定で有利、不利という評価をしているが、その時点では東黒川の3堰の用水が影響を被る対象としてあるというのは、この中に入っていないし想定もされていない。なぜそうなるかという、この評価のなかでは、水源に関してはAクラス、心配はないとの評価になっている。なぜそういう評価になっているかという、この資料には載っていないが、計画地から1km範囲内に水源があるかどうかを一律の評価基準にしている。この東黒川の用水の場合は一番近いところで2kmから3kmの間そのぐらいに3つの取水口があるが、一律の評価基準には載ってこない。周辺には水源はないという前提で評価している。東黒川には3堰があると思ったが、私自身が東黒川の住人なので、他の候補地と公平に見比べるのに個々の地域事情を入れる訳にはいかない。この評価自身が絶対なものではない。同じ評価基準を委員会の中で設定して、6箇所の中で相対的に良さそうに見えるかという評価をただけである。地域事情の細かいことに関してはこれから詰めていく、その上で一つに絞る。そのために説明会があって令和7年度に決定するまで猶予を持っている。今日の説明会の中で、質疑の中で分からなかったところが見えてきた。どこまで検討され</p>	<p>て配慮することとされていたため、考慮していないとの回答を用意していた。(町)</p>

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地選定結果報告会
東黒川区 意見及び質疑応答 要旨

意見・質疑・要望等	回答・説明
	<p>てきたのか見えてきたので、今日1回では結論が出るような話ではない。なぜ地蔵久保が候補地として選ばれたのか、推薦されたのか。それは大きな問題で、そこがクリアにならないといつまでも平行線というか、解決の糸口が見えないとなりかねない。情報開示という話がありましたが説明責任は町にあると思う。ちゃんと納得されるのであれば、問題ない。この計画自体がやっと今日よくわかったという人が多いと思う。地蔵久保が候補地となったか納得できるように町から説明いただきたい。知らないうちに計画が進んでいたとか、知らないうちに決まっていたからしょうがないとなってしまうといけないので配慮していただきたい。私は県の環境影響評価技術委員として地形、地質、地下水の専門家として20年ぐらいやってきている。細かいことは環境アセスをして、数値的に計算をして明らかにしないとわからないところも多いが、今回の計画でいえば、水量が今より減る。水質が良くなることはないし、そのままということもありえない。基準値以下であろうとも新たなものが混ざり込んでくるのを避けられない。そう考えている。対処の仕方によって、それをどこまで抑えられるか、代替えの措置ができるのかということになる。地域として用水を守っていききたいというのは非常に大きい要望である。明治のころの訴訟の話がありました。実際は江戸時代の350年以上前に長野市の</p>

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地選定結果報告会
東黒川区 意見及び質疑応答 要旨

	意見・質疑・要望等	回答・説明
	善光寺平とこちらの黒川周辺で八蛇川の水の取り合いで文書も取り交わしていて、善光寺平には水を一滴も分けていない。そういう歴史があるところで、八蛇川水系の水を大事に思っている。ぜひ考慮していただきたい。	
11	<p>① 地震とかで壊れました。修復する前にごみを通過した雨水が流れたときの影響はどういうものがあるか。システムが故障していつの間にか漏れていたというのがあった場合に、どういふ影響があるか。</p> <p>② ごみを通過した水が流れると、環境にはよくないのか。農業で使うとなったらかなりまずいものなのか。</p>	<p>① 一箇所に選定された後に、環境影響調査を行えば数値的なものが分かってくるが、今の段階でそこまでは言えない。壊れたとなればそこで処理しようとしていた水がそのまま流れてきたり、埋まっていたものが決壊して、土石流になって流れたりすることもあり得なくはない。いろいろなことがあるかと思う。(広域)</p> <p>② どれくらい有害なものを埋めているかによって、そこに触れた水がどれくらい有害かと決まってくるかと思う。今須坂で埋めていて、そこから出ている浸出水は、処理しなくて大丈夫なぐらい綺麗。何 ppm とか言えないが、灰に触れた水が、破れたり決壊したりすれば、そのまま流れることは間違いないので、よくはないと言える。(広域)</p>
12	東黒川の皆さんにすれば、村の中を通っていたり、水田のほとんどの水路が関係したりしている。袖之山とか地蔵久保で説明会をやっているが、一番影響するのは東黒川だと思う。報告書を読んでも、地蔵久保、袖之山の皆さんよりも東黒川の皆さんが一番心配している。なぜ東黒川にもっと早くこういう機会を設けなかったのかと思っている。これからでも遅くない、何回もやって、皆さんの心配になる点を全部クリアしてもらわないといけない。一番上流へ作れば当然、下流へ影響がでる。説明通りなら問題がないが、	/

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地選定結果報告会
東黒川区 意見及び質疑応答 要旨

意見・質疑・要望等	回答・説明
<p>福島原発にしろ、今回の能登の地震にしろ、電源が切れたり、放射能のモニタリングポストが作動していなかったりと、いろいろなことがある。我々とすれば、30年、50年ではなく、将来にわたって絶対に大丈夫と言えるのか。行政や広域の皆さんに責任どうのこうのではなく、それは無理な話なので、東黒川の意見が最終的に反映されると、いろいろな意見が出てよかったと思っている。芋川の日向の沢の処理場は、業者が二転三転していると新聞にも出ていた。水が将来にわたって大丈夫だということであれば下流の中野市でも反対はしない。設置の規則は行政でも民間でも同じ規則の中でやるが、後の対応が民間と行政とは違う。民間の業者だと心配もある。中野の皆さんは賛成しないと思う。我々も取り返しが見つからないことになったら困る。雨もとんでもない集中豪雨がきますし、地震などもあるし、30年、50年で後は行政はタッチしないとなると心配になる。検討の機会を持ってほしい。なぜ地蔵久保が候補になったかで、昭和40年代後半、町内各地にゴルフ場ができて、三登山の北側、地蔵久保へゴルフ場の計画もあった。行政指導で、牟礼村でゴルフ場は作らないとなった。当時の企業がどの程度(土地)を所有しているのか。また、資料では、筆数はでていたが、地権者の数はでていない。地権者は公表できないかもしれないが、地権者へ確認して、我々が公表してもらいたいと言</p>	

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地選定結果報告会
東黒川区 意見及び質疑応答 要旨

	意見・質疑・要望等	回答・説明
	<p>ったら、公表するぐらいの取り組みをやってもらいたい。企業が当時買取した土地を持っていてどうにもならない、有効利用できないかというところから始まったとすれば心配だ。私はこういう上流ではなく八蛇川の下流へもっていき、水田や集落を通らず、ある程度の水量があるところ（への放流）であれば、問題が少ないと思う。八蛇川、鳥居川は5つのブロックの中の北部ブロックで豊野町が入っている。豊野町と話をするのも具合がよい。私はもっと下の方へ見直してもらいたいと考えている。</p>	
13	<p>関心の深さを感じた。120戸で55人、約半数に参加いただいた。気になっているのは用水の水質汚染と水量について一番心配している。有害物質については、丁寧に説明いただき、できることはすべてやっただけで、リスクはあるが、しっかりやっただけでいる。水量は、水田が多く、心配している。取水口の河川の改修工事、八蛇川の水が少なくなり、用水に入れるのに役員が苦勞している。河床が下がっているのも原因、(一級河川で) 県管理のため、持ち越しとなっている。最終処分場で水量の話がでたので、もう一度改修(の話)を進めたい。用水は東黒川区だけではない、町民会館の西では四ツ屋区の人たちもたくさん耕作している。矢筒荘の西では牟礼区の人たちが耕作している。次に要望するときには、東黒川区、四ツ屋区、牟礼区の区長にもお願い</p>	

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地選定結果報告会
 東黒川区 意見及び質疑応答 要旨

	意見・質疑・要望等	回答・説明
	<p>して、水量も少なくなるが効率よく用水に入れられれば、それだけでも違うと思う。ぜひやりたい。町へお願いしたい。これからも住民が不安に思ったり、心配があったりすれば相談にも乗るし、こういう機会も設けると言われている。必要があればやりたい。</p>	